

2025年6月～8月のご利用案内



当館の開館時間は午前9時～午後5時まで（最終受付は午後4時30分）ですが、下記日程は、**開館時間延長**します。開館時間、休館日等ご確認のうえお間違のないようお越しください。

- ★開館時間延長日 午前9時～午後6時 ※最終受付は午後5時30分
 <7月> 19(土)～21(月・祝)、26日(土)、27日(日)
 <8月> 14日(木)～17日(日)

6月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	★	21	★	22	23	24
25	★	26	○	27	★	28
29	○	★	28	29	30	31

8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	★	15
16	★	17	★	18	★	19
20	★	21	★	22	★	23
24	★	25	★	26	★	27
28	★	29	★	30	★	31

<凡例>

- :休館日(定期・振替・年末年始)
- ★:開館時間延長日
- :イベント実施日

※7/26・27日は砂金掘り大会開催のため
 団体様ご予約はお受けできません

編 | 集 | 後 | 記

当館では来館のみなさまの目を楽しませようと、エントランスにて金魚やメダカを飼育したり、地域の方からいただいた季節の花々を飾ったりしています。生き物たちが元気に過ごし、花々が生き生きと花開くようにするのはなかなか難しいもの。毎日の手入れがたいせつです。ここのところ特にスタッフKが金魚やメダカの飼育に手をかけてくれており、みんな元気にすくすくと大きくなっています。水草やオブジェも加わり、ますますにぎやかです。水槽には金魚・メダカストーリーも掲示されています。ご来館の際にはぜひ足を止めてご覧くださいね。(編集 K & I)



甲斐黄金村・
湯之奥金山博物館だより

第112号
 令和7(2025)年6月10日

発行 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館
 〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先
 TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003
 博物館HP▶<https://www.town.minobu.lg.jp/kinzan/>
 E-mail▶yunoking@town.minobu.lg.jp もーん父さん▶X & Facebook



甲斐黄金村・ 湯之奥金山博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡一中山金山

No.112

2025.6.10



夏だ!「砂金掘り」だ! 今年もアツい戦いがやってくる!

訪れる人々の目を楽しませた桜の季節が過ぎ、まもなく夏がやってこようとしています。当館の夏といったら、やっぱり「砂金掘り大会」と「砂金甲子園」。決められた重さの砂の中に、決められた数の砂金が入っており、これをいかに早く落とさず正確にパンニングできるかをスポーツ競技化した大会です。毎年、ジュニア世代～シニア世代まで全国各地からたくさんの方が参加してくださいませ。

今年は7月26日(土)に砂金掘り大会(一般大会)、27日(日)に砂金甲子園!東西中高砂金掘り大会(学校大会)を開催。6月2日(月)よりお問合せフォームにて申込受付が始まっています。己との戦い、ご家族やお友だちと楽しむ場、いろいろな楽しみ方があります。今年もたくさんのご参加をお待ちしています!

▶イベント詳細については5～6ページを参照

明治時代の埋蔵物発掘届と甲府城御金蔵破りについて

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 信藤祐仁

「埋蔵物発掘届」

相川村に居住する早川豊七より、明治30年7月3日、「埋蔵物発掘届」が提出されている。届出によると、同氏が所有する相川村古府中の御馬屋小路1096番地の水田から、床下げ作業中に埋蔵金が発見され、同氏から相川村役場に提出されたものである。その内容は、面積五畝15歩（約545㎡）の広さの水田の内、その土地内が高低差をなしていたため、6月7日より、若干床土の面を下げる作業をしていた。同月25日、平面（地面）より深さ貳尺（約60cm）くらいの所において小石を取り除いたところ、お金と刀が発見された。壹両小判28枚、甲金壹分（甲州金壹分判）28個、々貳朱金（甲州金貳朱判）裏無地3個、々壹分角金（甲州金壹分判に角金は無いので通常壹分判の間違いと推測）23個、古刀一振り（中身約32cm、総長約42cm）の寸延短刀である。

埋蔵物発掘届
西山梨郡相川村貳百五番戸平民 早川豊七

一 金壹両小判 貳拾八枚
一 甲金壹分 貳拾八個
一 貳朱裏無地 参個
一 壹分角金 貳拾参個
一 古刀壹振 中身壹尺六分

右者拙者所有地本村古府中為内字御馬屋小路
千九拾六番田反別五畝拾五歩之内土地高低為之
二付本年六月七日ヨリ若干床下ケ致し候處同月
廿五日平面与り深貳尺斗リ之処ニ於テ小石除去キ
為處前書之物品発掘致し候間物品同様
差出及御届候也

明治三十年七月三日 早川豊七

発見された地点

発見された相川村は、現在の甲府市古府中町の区画整理が実施された地域であり、武田神社の北西、相川小学校北側、相川扇状地の開析部になる。武田氏館（躑躅が崎館）が置かれた戦国時代には武家屋敷地にあたり、周辺の小字には土屋敷（土屋右衛門尉昌次）、道軒屋敷（武田道遥軒信綱）、中屋敷があり、山本勘助屋敷もかつて存在していたと推定されている。御馬屋小路の小字のとおり、南北に御馬屋小路が走っていた。武田氏滅亡後は水田や桑園の農地となっており、この一帯の耕作者の居住域は北側の日影村、下積翠寺村の住民がほとんどであった。発見された出土品は残されていないが、旧相川村役場にはこの埋蔵物発掘届があつて、昭和12年甲府市との合併とともに移管され、この周辺の土地を所有する甲府市の元職員からこの複写を入手したものである。



「甲府城御金蔵破り事件」



仏国寺鬼子母神

享保19年（1734）12月24日夜、甲府城内に盗賊が侵入し追手渡櫓にあった御金蔵が破られた。盗み出された金は御金包み十包みで、甲金千二十九両三分、小判三百九十三両二分、合計金千四百二十三両一分であった。事件後、甲府勤番支配の2名が失脚し、当直の勤番士など関係者が罰せられている。犯人は高畑村次郎兵衛で、事件発生から9年後に逮捕され、市中引き回しの上磔刑に処せられた事件である。

甲府市相生に仏国寺の鬼子母神堂がある。江戸幕府より甲府勤番を命じられた福島彦四郎が甲府の長禅寺前に居宅を構え、もともと地内に祀られていた鬼子母神を自分の屋敷内に移転安置したことに由来する。当夜甲府城宿直にあつていた彦四郎は、その前夜日頃信仰する鬼子母神が夢に現れ、「明日の宿直は他に依頼すべし」とお告げがあつたので同僚に交代を依頼した。当夜甲府城各御門の警備にあつていた勤番士（平間、原田、小俣ほか）は、職務怠慢、虚偽報告、賭博などの罪により厳しく処分されている。鬼子母神の霊夢によって危うく大難を免れた彦四郎は、霊験あらたかなこの尊神を個人としてのみ崇拝することは恐れ多いことと思ひ、代わってもらつた同僚一族の菩提供養と福島一族の繁栄を願って、菩提寺の仏国寺の守護神として安置奉遷されている。

御金蔵稲荷

甲府城には享保12年（1727）に屋形曲輪の中に御金蔵があつたが、甲府の武家屋敷から出火した大火が城内にも飛び火して焼失したの

で、追手渡櫓内に領内から徴収した税金等を保管していた。御金蔵破り事件以来、寛保4年（1744）城内に御金蔵を新設し、追手渡櫓からお金を移した。御金蔵の位置は、鍛冶曲輪門の北西側で現在の「舞鶴通り」のあたりになる。明治になってお城が廃城になるとこの付近一帯に甲府中学が開校し、御金蔵は体育倉庫として使われていた。昭和5年に朝日公園に移築され、御金蔵稲荷社となったが甲府空襲によって焼失した。現在の建物は2代目にあたり、御金蔵破り事件のこともあつて盗難除けにご利益があるとされている。



甲州金の流通

甲州三法は、武田信玄が制定したとされる大小切税法、甲州金、甲州辨を指す。甲斐一国で流通が許された甲州金は、甲府城御金蔵破り事件では税金とし領内から徴収した御用金十包みの内訳が、小判1に対して甲州金が約2.6倍になる。江戸時代に埋められた可能性が高い御馬屋小路の埋蔵物発見届では、一両小判が28枚に対して甲州金は0、甲州金一分判28、二朱判3に対し一般の角金一分判が23個である。御金蔵破り事件は、時期こそはっきりしているが盗み出された金十包みがどのように保管されどのような性格のものなのか正確なところはわかっていない。埋蔵物発掘届にある埋蔵物はいつ埋められたものなのか不明であり、埋蔵物が一般的な江戸期における甲州金の普及割合を示すとも限らないが、甲斐国内に江戸時代に流通していた甲州金の使用割合がある程度反映されている可能性も否定できないと思われる。

■活動報告 01 3/29(土) おしえて☆みやもん先生! 第17回 化学実験教室

夏休み自由研究を先取って、春休み開催とした化学実験教室。当イベントは開成中学校・高等学校・理化学部顧問の宮本一弘先生を講師にむかえ、身近な化学をテーマにした実験教室です。初の春休み開催に町内を中心に、延べ21人の子ども達が参加してくれました。

教室では「光の不思議」、「キッチンで科学実験」、「君も科学者!」をテーマに各時限2つずつ実験を実施。偏光シートや分光シートを用い光を覗いてその見え方や色の変化を体験しました。また、毛糸を巻いた割り箸にラー油を付け水と洗剤の中に入れて、油分が浮かんでくるローリングアップ現象を観察しました。宮本先生のわかりやすい解説に、子ども達だけでなく保護者の方もじっくり聞き入り、親子で身近な化学の不思議を体験するよい時間となりました。



■活動報告 02 4/20(日) 第4回 シン・サンポ 「切石編」

4回目の今回は、身延町内の「切石地区」をフィールドに歴史散策しました。地内の郷蔵跡、赤山神社、善妙寺、御崎神社、正伝寺などを訪ね、善妙寺と正伝寺ではご住職から由緒や所蔵されている文化財などについて詳しくお話を伺いました。参加された皆さんには「国道52号線はよく通るものの街道から1歩入って集落内を巡るのは今回初めて」という方が多く、見慣れているはずの切石の宿場の中に新鮮な発見があったようです。散策途中には、ヒトリシズカ、オドリコソウ、イカリソウ、などの野生の花も咲いており、ゆったりと自然観察もできました。



■活動報告 03 校外学習のご利用続々!

当館は一般のお客様のご利用に加え、学校による校外学習の場としても非常に多くのご利用をいただいています。5月初めのゴールデンウィークを終え、本格的な学校での利用が始まりました。この時期の、中学校の県内めぐりは、身延山久遠寺や富士川クラフトパーク、道の駅にしじま和紙の里かみすきパーク、印章資料館などと合わせた、峡南地区周遊メニューでの利用が多くみられます。子どもたちはそれぞれに課題準備をし、展示室での湯之奥金山の歴史学習と、砂金採り体験で鉱山作業の実体験を通して、楽しみながら学びを深めていました。また、学校利用以外にも観光団体利用も続々とあり、日々、館内はにぎわいをみせています。

4月・5月の団体利用状況

観光団体 39人、観光団体 15人、楡形中 29人、敷島中 10人、須玉中 26人、玉穂中 36人、双葉中 26人、白根御勅使中 3人、八田中 4人、下吉田中 33人、若草中 22人、田富中 24人、韮崎西中 27人、団体 13人、団体 32人



もーん父さん
トピックス

4/4(金) 春の交通安全運動

町の反射材大使を務めるもーん父さん。春の交通安全運動週間にあわせてJR身延線身延駅前にて交通安全を呼びかけました。

開館28周年記念グリーティングイベント
「もんふぁんグリグリ」

4/20(日)

当館のPRを頑張るもーん父さん。今では全国からももーん父さんに会いに来館くださる方が大勢います。そうしたみなさまに感謝の気持ちを伝えるべく、4月24日の開館記念日をひかえた日曜日、グリーティングイベントを開催しました。もーん父さん視点による展示解説から始まり、春らしいピンク色の装飾で彩られたフォトセッションブース「もんもんルーム」にて記念撮影会やじゃんけん大会などを行い、参加のみなさまと楽しい時間を過ごしました。

4/6(日)

第44回大法師さくら祭り

身延町のお隣、富士川町には日本のさくら名所100選に選出されている大法師公園があります。園内には2000本の桜があり、さくら祭り期間中はライトアップもされ、昼間だけでなく夜桜も楽しめるお花見スポットです。当日はきれいな青空が広がり、ステージタイムでは当館のPRやご来場の方々の写真撮影を行い、たくさんの方と交流できました。



しもべ黄金の足湯 終了のお知らせ

2011年2月のオープンから14年間、県内外からのお越しのお客様、地域の皆様方の憩いの場となっておりました足湯ですが、このほど、埋設給湯配管の経年劣化に伴う漏水箇所が確認されました。長きにわたり多くの皆様にご愛顧いただいていたまいりましたが、諸般の事情により、2025年4月15日(火)をもちまして終了いたしました。これまでご愛顧賜りました皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。なお、下部温泉駅前「サンロード温泉・しもべの湯」敷地内に屋外足湯がございます。これからも下部温泉源泉をお気軽にご利用くださいますよう、あわせてご案内申し上げます。

砂金掘り大会2025開催のお知らせ



◀両日ともお申し込みはこちら

7/26(土) 第25回 砂金掘り大会(一般大会)

【場 所】 湯之奥金山博物館専用駐車場

【定 員】 全部門合わせて 200 名 ※定員になり次第受付終了

【種 目】 ジュニア部門 (小中学生) 6kg
男女一般部門 予選① U40 (高校生から 40 歳までの男女) 10kg
予選② アダルト (41 歳以上の男女) 10kg
→ 予選①、②の各上位 1 割 + α による決勝戦 16kg
※自己申請式なので、とくに申し出がない場合は「予選① U40」へのエントリーとなります

【日 程】 9:30 ~ 受付
10:00 ~ 開会式 (トロフィー返還・ルール説明 ほか)
10:25 ~ 競技開始 (ジュニア部門・U40・アダルト、予選→決勝)
15:30 すべてのプログラム終了予定

【参加費】 小学生 @ 500 円 / 中学生以上 @ 1000 円
※選手の熱中症対策、安全対策として。競技砂金の持ち帰り不可

【申 込】 お問合せフォームからメールにて

★お申込みにあたって★

- ・フォームの「お問い合わせ内容」の最初に「砂金掘り大会 2025 申込」と記載する
- ・住所、氏名(読み方)、学年または年齢、参加部門、開催日まで連絡が取れる連絡先を明記する
- ・複数人まとめて申込する場合は、代表者が全員分の情報をまとめ送信する



第22回 砂金甲子園開幕!

7/27(日) 東西中高交流砂金掘り大会(学校大会)

砂金掘りに熱い思いを持った中高生が全国から集結! チームによるバケツリレー方式の団体戦と各校の選抜による個人戦の結果により順位が決まる学校大会。2025 年大会を制するのはどの学校か! 中高生の奮闘から目が離せない!

【場 所】 湯之奥金山博物館専用駐車場

【募集校】 最大 12 校 ※ 12 校を超えた場合は団体戦を予選とします

【種 目】 団体戦 (最大 15 人までエントリー可能)
個人戦 (各校の代表 5 人 先鋒・次鋒・中堅・副将・大将)

【日 程】 8:30 ~ 受付
9:00 ~ 開会式 (優勝旗返還・ルール説明 ほか)
9:20 ~ 競技開始 (団体戦・個人戦)
14:00 すべてのプログラム終了予定

【参加費】 1 校 5,000 円 ※選手の熱中症対策、安全対策として。競砂金の持ち帰りは不可

【参加資格】 ・学校単位で参加すること ・学校名を出して参加できること
・競技者が最小 6 人、最大 20 人までであること (補欠選手のチーム随行は OK)
・チームメンバー全員が博物館公式 YouTube の「砂金甲子園解説動画 (2022-2024 年度版)」を見て、基本的なルールを理解していること

【申 込】 お問合せフォームからメールにて

- ・フォームの「お問い合わせ内容」の最初に「砂金甲子園 2025 申込」と記載する
- ・学校名、参加人数、交通手段、到着日時、開催日まで連絡が取れる代表者及び連絡先を明記する

